

授業科目	* 専門研究Ⅱ（文屋）				単位	2		
履修	必修	関連資格			ナンバリング	WE31702J		
開講年次	4年	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	文屋 典子							
授業概要	各々の学生の関心のあるテーマに基づいて指導教員を選択し、専門領域の研究を行う「専門研究Ⅰ」に引き続き、原則として同じ教員による指導を行う。3年次の専門研究Ⅰを踏まえ、より専門的な内容を深めていく。具体的な内容については、各担当教員より提示する。							
学生が達成すべき行動目標	教員の指導のもと、個人あるいはグループで設定したテーマに基づいて専門領域の研究を深め、その成果をまとめることができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	0	50	50	100	
知識・理解 (DP1-1)					5	5	10	
知識・理解 (DP1-2)					5	5	10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)					5	5	10	
思考・判断 (DP2-2)					5	5	10	
関心・意欲 (DP3-1)					2	2	4	
関心・意欲 (DP3-2)					3	3	6	
態度 (DP4-1)					5	5	10	
態度 (DP4-2)					5	5	10	
態度 (DP4-3)					5	5	10	
技能・表現 (DP5-1)					5	5	10	
技能・表現 (DP5-2)					5	5	10	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
個人あるいはグループで設定したテーマに基づいて、研究手法プロセスを理解した上で実践し、独自の視点で考察し、その成果をまとめ、他者に説明することができる。				個人あるいはグループで設定したテーマに基づいて、資料を集め、調べたりすることができる。また、その成果をまとめることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	指導方法・内容 ・「演習(ゼミナール)」の方法をとる場合が多いが、担			演習他		復習:各テーマに関して深めた研究内容について再考察す		45

	当教員より指示する。 ・原則として3年次と継続した指導を行う。基本的に3年次の専門研究1を踏まえ、より内容を深めていく。 ・研究領域・内容は、各教員の専門分野及び研究指導領域の資料内容に基づく。 個人あるいはグループが取り組んだ研究の成果をまとめる。		る。 予習:設定されたテーマに関して調べ、考察する。	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	3年次の専門研究1で学んだ内容について、確認する。			
テキスト	担当教員ごとに紹介します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	担当教員ごとに紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	専門研究は、学生が自らの学問的関心に基づいて各自の研究領域やテーマを深めるものです。主体的・積極的姿勢で臨んでください。			
達成度評価に関するコメント	各教員ごとに提示します。			